



都市環境における 循環型フードマーケットを 支援するデジタル化

イタリア・ミラノ

概要

REFLOWプロジェクトに参加したミラノ市は、特定の食品の流れに着目し、新しい食品のプロトタイプを試験し、食品廃棄物を新しい製品に変える既存のプロジェクトを支援し、卸売・市場段階での食品廃棄物の削減に焦点を当てた取り組みを可能にした。

REFLOWとは

REFLOWは、2019年から2022年にかけて行われるEU Horizon 2020イノベーション・アクション・プロジェクトであり、欧州各地にある自治体、科学研究機関、技術プロバイダー、デザイン団体や草の根組織、中小企業を含む28のプロジェクトパートナーの専門知識を結集している。REFLOWプロジェクトは、生産の再局地化と異なるスケールでの物質の流れの再構成を通じて循環型・再生型の都市を開発することをビジョンとして掲げている。ミラノは本プロジェクトでパイロットとなる6都市の一つである。

Food Market 4.0の必要性

ミラノ市は、大規模な総合食品卸売市場に関連する23カ所の屋根付き市場を所有している。市内の住宅地区に広く普及しているこれらの食品市場は、社会的交流、製品流通、都市文化の場としても機能している。農産物生産、市場、現代都市環境の相互作用をよりバランスのとれたものにするため、ミラノ市は、市の食品市場においてオープンイノベーションと循環型への移行を重視している。様々なステークホルダーとの数回にわたる共創ワークショップを経て、市当局は、例えば、果物や野菜の追跡ができないこと、使い捨ての輸送ボックスからの廃棄物の発生、食品廃棄物などといった、廃棄物管理、余剰品の再分配、アップサイクル食品の可能性に関する様々な課題を特定した。

ミラノ	
人口: 135.2万人	面積 181.8 km ²
首長誓約 署名年: 2008年	CO ₂ 排出 削減目標: 2030年までに 少なくとも40%削減 ¹

¹https://www.asean-mayors.eu/wp-content/uploads/2018/02/07_Milan_Clim_ate-Action.pdf

Food Market 4.0

ミラノ市は、市場の管理者が、卸売業者、市場の小売業者、顧客、地元の組織間での果物や野菜の流れを追跡できるように、一連のハードウェアとソフトウェアのソリューションを導入した。また、この取り組みでは、再利用可能で追跡可能なトレイを市場に提供し、サプライチェーン全体を通してトレイをスキャンし重量を測定し、野菜や果物の流れを把握している。これにより、市場は使い捨ての包装を排除し、廃棄物の発生を減らしている。デジタル化されたダッシュボードに食品の流れが表示されることで、市場運営者と個々の小売業者は、市場を流れる商品の需要と供給を調整するという管理上の機会を得ている。さらに、食品は地域の慈善団体に再分配することもできる。Food Market 4.0は、持続可能な市場運営を可能にするいくつかの行動を組み合わせたもので、再利用可能な梱包材の循環フロー、食品廃棄物の削減、日々の余剰食品の効率的な再分配を実現している。

教訓

Food market 4.0の導入は、自治体における食品の流れの最適化がもたらすメリットを実証している。地域の関係者や当局は正確なデータ収集の恩恵を受け、食品廃棄物や過剰消費の削減を促進し、最終的には食料生産の減少に寄与している。結果として、ミラノ市が運営する市場では効率が高まり、現代の消費主義や持続可能な都市への願望に適応するようになっている。



主要
データ

追跡・トレースできている農業食品
10%増加

